



平成30年8月10日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 加 藤 友 彦
 (コード番号5337 東証第1部)
 問合せ先 取締役総務部長 前 山 達 史
 (TEL (06)4795-5000)

営業外費用（為替差損）の発生及び
 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成30年12月期第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）において、営業外費用（為替差損）が発生することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成30年2月14日に公表いたしました平成30年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の内容

平成30年12月期第2四半期連結累計期間において、外国為替相場の変動に伴う外貨建資産の評価等により5千7百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。

2. 平成30年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,700	△ 200	△ 180	△ 200	△6円74銭
今回発表実績 (B)	2,671	△ 276	△ 314	△ 336	△11円33銭
増減額 (B-A)	△ 29	△ 76	△ 134	△ 136	
増減率 (%)	△ 1.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	2,727	△ 179	△ 229	31	1円05銭

3. 差異の理由

平成30年12月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は当初予想どおりに推移しましたが、営業損失は原料価格の高騰、物流費及び設備の修繕費等の増加もあり、前回予想値を下回る結果となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、外国為替相場が円高に推移したことにより、5千7百万円の為替差損を計上し、また、事業所の統廃合に伴う特別損失を4百万円計上したことにより、前回予想値を下回る結果となりました。

以 上